

## 『留学生にとってはすべてがコト消費』

高野 裕文（ヒューマンアカデミー日本語学校東京校）

### 【発表内容】

#### ①背景

学生から「日本語学校の勉強なんか意味がない、塾です。」「日本語学校は VISA のために来ている。」「日本語学校は私に関係ない。」というような事を聞くたびに寂しさや虚しさを感じ、「学生は日本語学校に何も期待していないのだろうか。」と疑問に思っていた。それなら直接自国から大学や大学院を受験すれば良いものをなぜ日本語学校を挟むのか。豊かな学校生活、日本生活の始まりの場、本来なら多国籍なクラスメイトとの国際交流等、大学などの進学先や就職先とは違う日本語学校ならではの役割があるはずだ。

と、学生に学校への不満を聞いたら、その回答は以下の通りだった。

- ・学生同士が友達になる機会がない。
- ・仲良くなれそうでも一緒にゆっくりとご飯を食べる場所もない。
- ・同じ学校の学生なのによく知らない。
- ・学費に行事費が含まれているはずなのに特別な行事がない。

#### ②学生から「留学生にとってはその生活すべてがコト消費」という意見が出たことから、

学生にどんな行事があったら学校生活が豊かになるか聞き、校内で開催した主な行事は以下の通り。

- 1 写真展（学生より公募した写真を写真展の形で紹介。テーマは「私の好きなもの」。さらに東京の写真を集めて特別展として「Find My Tokyo」も開催。）
- 2 交流会（「日本語交流サロン Wi-Wi わいわい」。学生同士の交流会。）
- 3 令和一番祭（昨年より開催している日本語の成果を発表する催し。今年は発表会という形は自粛し「後輩に伝えたいこと」というテーマでコンテンツを作成し共有する）
- 4 月間目標（毎月の努力目標を掲示）

こちらが思っているよりも学生は個人の力を発揮すること、みんなで何かをすることを楽しみに求めている。それは授業中にグループワークと一緒に勉強しているというようなこととは違うのだと思う。他人の事を少しだけでも視野に入れる。そういう展開を進めたい。

### 【所感】

イギリスでも来訪者が以前のように戻るのは2025年以降だと言われていると言います。コロナの中オンライン授業が普及し、日本語を学ぶのに日本に来なくても、日本人にオンラインで学ぶこともできるし、自分の国の語学学校で学ぶこともできます。

日本語学校に入るの意味は何だろう、日本語学校の存在意味が今まさに問われている  
と思いました。私たちが提供できるものは何だろう？ 授業を通じた学習経験、異なる文  
化の人との共生の機会、その他の文化体験など、TIJが留学生に、一般在住外国人に、企業  
の学習者にそれぞれ提供できることを皆で考えたいと思いました。

(市川さゆり)